

○第3回吉田小学校統合準備協議会協議概要

令和3年7月29日（木） 19:00～20:05

吉田公民館 大ホール

出席者 教育長・教育部長・教育総務課長・同課課長補佐・同課
施設係長・同課総務係主事・生涯学習課長・学校教育課
課長補佐・建築住宅課課長補佐・同課主任・綜企画設計
3名・木下教育委員
統合準備協議会委員36名（8名欠席）

1. 教育長あいさつ

昨年、8月に第1回の統合準備協議会が行われ、10月に第2回、本日が第3回目であり、協議内容については、統合に関する基本的な事項を初め、校舎の配置図案について説明させていただくので活発な審議をいただきたい旨をお願いします。

2. 教育委員会出席者及び各委員紹介

司会による事務局職員紹介、各委員については紹介割愛（名簿での確認）

3. 統合概要

資料の事前確認を依頼しており、事務局からの説明は割愛

4. これまでの協議概要について

資料の事前確認を依頼しており、事務局からの説明は割愛

5. 協議事項

（1）吉田地区小学校統合に関する基本的事項について

1-1）基本的事項の方向性

資料をもとに、昨年11月の教育検討部会で決定した方向性案（下表のとおり）について説明し、事務局としてはこの方向性案で決定させていただきたい旨説明する。

基本的事項	方向性（案） ※教育検討部会で決定された案
名称	宇和島市立吉田小学校
位置	現在の吉田中学校敷地内
開設目標時期	令和6年4月1日
学校経営案、学則	統合前の校長間で原案作成し、新学校組織で決定
校歌・校章・校訓	新規作成
服装	私服（※現行の制服の取扱いについては統合までの間に、立間、玉津と個別に協議）

意見・質問等はないか問う。

<質疑>

Q 学校経営案・学則の件について、統合前の校長間で原案作成は良いが、最終的には統合準備協議会で了解した上で、新学校組織で決定という運びのほうが良いと思うが。

A そのように考えている。

他に意見・質問等はないか問う。

<特に意見・質問なし>

上記方針で進める旨を述べる。

なお、体操服と制帽の取り扱いについても統一する必要がある、今後、教育検討部会で協議をしていく予定である旨説明する。

1-2) 具体的な検討方法

資料をもとに、校歌、校章、校訓について、どのように作成していくか、指名や公募（公募の範囲）などの方法が考えられ、その具体的な検討方法について協議したい旨説明する。

①校訓

統合前の小学校の校長先生5人を指名してはどうかと考えている旨説明する。

意見・質問等はないか問う。

<特に意見・質問なし>

上記方針で進める旨を述べる。

②校歌

提案、意見、質問等はないか問う。

<質疑>

Q 歌詞と曲を同じ人にお願いするのか、別の人にお願いするのも考えておく必要がある。

A その点も考えて進めていく。

適任者はいないかを問う。

<特に意見・質問なし>

まだ検討時間はあるため、次回の教育検討部会で、再度確認をしたい旨を述べる。

③校章

提案、意見、質問等はないか問う。

<特に意見・質問なし>

まだ検討時間はあるため、次回の教育検討部会で、再度確認をしたい旨を述べる。

(2) 吉田地区小学校統合準備協会について

本協議会に、校区ごとの代表者を設置してはどうかという提案を説明する。その目的として、校区ごとに協議した結果を持ち寄ることで円滑な議論に繋がり、さらに役員改選等によって委員が変更となった場合にも、議論の継続性確保にも繋がることや、校区の代表者については統合まで委員を継続できる方が望ましい旨をあわせて説明する。

意見・質問等はないか問う。

<質疑>

Q 校区毎の代表者設置について基本的に賛成だが、先ほどの校歌・校章を教育検討部会で検討するという話だが、教育検討部会のメンバーはほとんどが毎年変わるので、校歌・校章等継続した議論が必要な項目はそぐわないと思うし、1年交替の会長に責任を持たせるのは非常に難しいと思う。だから校区毎の代表者が各地域の意見も聞き会議に反映させることで、この会がより充実したものにするほうが良いと思う。

A 了解した。

校区代表者を設置する方針とし、人選いただきたい旨を述べる。

<質疑>

Q 校区毎に代表を決めるのは良いが、誰の責任で決め、誰が報告をするのか。

A 校区毎で協議し人選いただきたい。もし良ければ、この後、校区で協議いただき決めていただけたらと思う。それでも決まらない場合は、後日協議いただき、回答いただけたらと思う。

Q ここにいるメンバーの中から選定するのか。統合までできる人というような文言があるが。

A このメンバーの中でお願いしたい。継続できる方が望ましいということであり、絶対ということではない。

(3) 跡地利活用について

当初の予定では、学校統廃合に関する事項がある程度決まった後に協議予定であったが、早めに協議する必要性が生じている地域もあるため、第1回を早めに開催しようと予定を変更し、第1回の跡地利活用検討部会を、来月8月以降で校区毎に日程調整をして開催したい旨説明する。地域によっては開催の必要がない場合も考えられるため、開催の必要性について

も相談しながら進めていきたい旨も説明する。会議内容としては、市の跡地利活用方針説明し、地域の現状を聞き取り、今後の跡地利活用の進め方を協議させていただきたい旨を併せて説明する。

現時点で跡地利活用検討部会の開催について先で良いという校区はないかを問う。

<特に意見なし>

今後、校区毎に日程調整する際に、再度確認・調整する旨を述べる。

他に意見・質問等はないか問う。

<質疑>

Q 跡地利活用検討部会のメンバーについて、当面は良いが、地域意見の集約には幅広くメンバーは入れたほうが良いし、委員の構成は各地域に任せたほうが良いと思う。

A 統合準備協議会における跡地利活用検討部会のメンバーとしては、今のメンバーで考えているが、跡地利活用検討部会を開く際に、地域の見識のある方に集まっていたら協議をすることは問題ない。

なお、メンバー構成は各地区にある程度任せたいが、跡地利活用検討部会には、当該部会の委員はそれぞれの地区に入ってもらいたい。

Q 跡地活用を考える際には、活用事例も紹介いただきたいし、跡地活用で校舎等改修が必要となった場合の費用等についての市の方針も必要と思うので早急に検討してほしい。

A 他市の事例や市の制度などに関して、早急にまとめて第1回に説明できるな形にしたい。

(4) 吉田地区統合小学校整備について

<配置図の説明>

吉田地区統合小学校の配置図案について以下のとおり説明する。

○これまでは、小学校校舎、小学校プールを吉田中学校グラウンドの南側に整備する計画であったが、グラウンド東側に小学校校舎、小学校プールを配置し、その後、2期工事（時期未定）として、現在の吉田中学校プール側に、中学校校舎、体育館という配置案としている。（＝小学校、中学校両方の校舎をグラウンドに面する形での配置）

主な理由

- ・当初の南側に小学校エリアを配置する案では、2期工事完了後、小学校の職員室等から、グラウンドが見渡せなくなる。
- ・児童がグラウンドへ出る際、車両の動線と交差してしまうため、設計業者のアドバイス等も踏まえ、安全面、学校運用面を考慮。

○ピロティ下の大きな特徴として、校舎下に軽運動スペース（特に雨天時等で有効）、芝生広場（採光）の設置を計画しており、2期工事完了後には概ね90台程度の駐車場を

設置できる。

- 学校の正門は、安全面を配慮し、歩行者、自転車、スクールバス等自動車の動線を分離している。登下校時、児童生徒は小学校校舎と中学校校舎の間の大階段を上り地上2階部分の校舎に上がることになる。
- 校舎内には各諸室エリアとして、職員室等の管理諸室エリア、普通教室エリア、放課後児童クラブの兼用を想定した学童エリアがある。校舎の全般的な特徴としては、光と風が通る吹き抜けを中心に部屋を配置した回廊式の配置計画である。
- 普通教室エリアは、文科省での様々な議論（ICT教育環境整備、ポストコロナ対策、防災対策、少人数学習への対応など）も踏まえ、これからの学校施設として必要な施設整備（多目的スペース、可動式間仕切りを利用した多用途に使える教室など）を計画している。普通教室エリアは東西向きとなるが、半屋外テラスを設け、南面からも採光できるような計画としている。
- 学童エリアについては、普通教室エリアや管理諸室エリアとの間にセキュリティを設け、放課後の管理を学校と明確に区分できるように予定している。児童生徒の動線については、ピロティ下に降りることなく、2階部分で小中学校の各校舎から体育館に行くことができる配置計画としている。
- 校舎の3階、4階部分は、普通教室エリア、音楽室等の特別教室エリアとなっている。3階には小中共用を想定した300平米程度の多目的ホールを配置し、さらに小学校校舎と中学校校舎の間には児童生徒の交流の場として憩いの広場を設け、4階には、小中学校ともにグラウンドが見渡せる屋外テラスを設置する計画としている。

<配置図に関する教職員意見の説明>

吉田地区各小学校の先生方の配置図案に対する意見について以下のとおり説明する。

(番号は学校意見、■は事務局回答)

1. 校舎等の配置

- ①車椅子アプローチの最も近くの駐車スペースは障害者専用駐車場、広めの駐車スペースとする必要がある。
■設計の段階で設置を予定。
- ②ピロティはいろいろな使い道があり、あると大変便利。特に雨天時、車を移動させれば集合場所や活動場所になる。
- ③全国のこのような小中の校舎配置のモデルケースを参考に、小中連携の実践事例を参考にできる。

2. 児童生徒の動線

- ④2階で校舎と体育館が連結されるが、靴を履き替える必要がないよう広場に屋根つきの連絡通路（土足禁止）が必要。
■土足、上履きの範囲を色分けする等、運用により対応を検討。
- ⑤小中が自由に行き来できれば、小中連携を図ることができ、中学生が小学生の面倒を見る機会ができる。

⑥小中が自由に行き来できるようにした場合、小中学校で授業時間も違い、休み時間も昼食時間もずれるため、互いに雑音になる可能性が高い。

■学校現場と運用による対応を検討。

3. 各諸室の配置

⑦特別教室を各階に分散したことは良い。

⑧4階の教室からグラウンドに出て、体育をして4階まで帰り着替えるのは時間のロスが大きい。

■今回の設計では第1に浸水対策としてピロティプラス3階の校舎（4階建校舎）としているため理解いただきたい。

⑨今後、児童数が減少していき、3階までで普通教室が足りる場合、4階の特別教室の便が悪くなりそう。

■普通教室エリアをフレキシブルな教室対応としているため、特別教室エリアは3階、4階に固定という形で想定。

⑩2階に湯茶室がない。職員室に設置されるのか。

■職員室内に設置予定。

4. その他

⑪吉田校区の小学校は5校ともプールは7コースである。新吉田小学校でもぜひ7コースをお願いしたい。

■7コースを想定。

⑫1階部分の昇降口は職員室から施錠、解錠可能な装置や防犯カメラが必要。

■機械警備や防犯カメラの設置を想定。

⑬第2期建設工事（中学校校舎、体育館）の際、児童やスクールバスの動線は確実に安全確保ができるのか。

■安全確保は確実に実施する。

⑭文部科学省が教室を広くするよう提言しているが、ぜひ広げて欲しい。ICT機器や持ち物の増加で広い机や収納が必要。

■これからの学校施設として、必要な整備を踏まえた設計を現在実施中。

⑮軽運動スペースはクッション性があるものが良い（シューズでそのまま行けるような形）。

■軽運動スペースは、外エリアを想定し、外履きを想定している。スペース下地の材質等は今後検討。

⑯教室の横側に長い棚を設置すると便利。本やファイルなど収納が可能。

■普通教室エリアはオープンかつフレキシブルな教室としているため、固定式の棚は想定していない。運用等で可動式の棚等による対応を検討。

⑰ランドセル用のロッカーは大きめが良いし、タブレット収納場所があれば便利。

■普通教室エリアには、ロッカー等スペースの設置を想定しており、ロッカーの大きさ等は今後検討。

⑱靴箱も大きめが良い。

■靴箱の大きさも今後検討。

①9手洗いは最低学年に一つ、蛇口はたくさん欲しい。

■基本的に普通教室の前側に手洗いを設置する予定であり、蛇口の数等は今後調整。

②0トイレの位置や数が不明。多目的トイレも欲しい。中学校職員用トイレはあるのか。

■小中学校ともに、職員用トイレ、多目的トイレは設置予定。

②1資料室や教材室はどこに入れる予定か。

■特別教室の隣に、それぞれの準備室を設置しているが、資料室については内容や量を踏まえ検討。

②2職員用トイレを1階と4階に作って欲しい。

■職員用トイレは2階職員室前に設置予定。

意見・質問等はないか問う。

<質疑>

Q 新しい小学校も避難場所になると思うが、避難時の備蓄倉庫は用意しているのか。

A 4階に備蓄倉庫を計画している。

Q 蛇口やトイレ、コンセントの数等、細かい意見・要望が出ているが、この後、意見を述べる機会があるのかを教えてください。せっかく子どものために便利な教室を造るのであれば、さらに細かい部分について要望していきたい。

A こういう大きな建物を建てる時には、細かく検討する部分もあるが、まずは導線や運用という大まかな基本構想を決める必要があり、それが今回の作業と考えている。その後、限度はあるが、トイレの数等微調整の部分も基本設計、実施設計で、ある程度意見を聞くことは可能である。配置を大きく変更するということはできないが、ある程度小規模な変更等は可能と考えている。

Q 他市町でも統合に伴う建築を経験してきたが、設計でこれしかできないと言われたら素人には返す言葉がない。学校の機能として、毎日そこに勤めている方、子どもたちが困らないようにしたいという気持ちがあるので、その意見を少しでも入れてもらえるように考えてもらいたい。実際に他市町の時にはなかなか意見を取り入れられず、設計を変えてもらえないことがあった。設計基準等は分からないが、過去に困った点を指摘しても反映できないと言われたらそれで終わると心配したところである。今後、細かい計画の中で意見を言うことはできるのか。

A 今日の段階で意見集約の場が終わりということは全く考えてない。当然、我々としても先生方や子どもたちが使い勝手の良い建物にしていきたいと強く思っている。そのため、今後も可能な限りヒアリングする時間も設け、希望には沿っていききたいと考えている。ただし、法的に駄目な部分は理解いただきたい。その上で、使う側にとって一番使い勝手がいいものが理想と思うので、設計会社、市建築住宅課等の職員の知

見も入れながら良いものを作っていきたいし、まだこれからだと考えている。

設計委託業者である綜企画設計松山支店職員に補足説明等を求める。

綜企画 当初から設計する中で、この吉田町にふさわしい学校、これからの学校を造りたいと考えている。その中、今回、小学校、中学校、体育館、プール、様々な施設があり、防災対策なども複雑に絡んでいる。この複雑な状況を解く鍵として、「繋がり」をコンセプトとして持っている。「繋がり」というのは、小中での繋がり（小中連携の景色）と地域との繋がりをこの場所で造れたらと考えている。将来的に児童生徒数も減少する中、より学校というものが、今後、地域の中で子どもたちを育てる一つの場になればという将来的な構想も持ち考えている。さらに、この場所らしい景色との繋がりというところも考えている。その中の見せ場としては、小学校校舎・中学校校舎・体育館に囲まれた中央に大きな広場を設けている。アプローチとしても機能するこの広場を、小学校、中学校の利用や、地域の方々の活用、ここの場所の景色を感じるための大きな繋がりを1つのキーとし、この広場を中心に繋がる建物群を、1つ強いコンセプトを持ち今回の設計にあたっている。これが、同時に災害対策としても活用できたり、そういう複雑な問題をうまく解いていくためのキーポイントになっているのではと考えている。最終的に、この場所で子どもたちが伸び伸びと生活でき、その上でこの場所で学び、この場所を愛してもらえるような建物を設計できたらと強く思い、日々設計している。どのように意見聴取し設計に取り込んでいくかは、市と協議し進めていきたいと考えている。我々としても、でき上がった建物を子どもたち、地域、教職員の方々に愛される建物にしたいので、様々な意見をぜひ取り込んでいきたいと考えている。

全般的な配置に関して、原案をベースに進めたい旨について問う。

<特に意見なし>

全般的な配置に関して、原案をベースに進めていく旨を述べ、併せて、資料の図面については置いて帰るよう述べる。

(5) その他

他に意見・質問等はないか問う。

<特に意見・質問なし>

木下教育委員：統合には、先生方、地域の方々、いろんな心配があると思う。5校が1つになる新しい小学校である。設計の段階であるが、先生方、子どもたち、地域の方々の意見を積極的に発言いただき繋がりのある校舎にしていきたい。

6. 閉会あいさつ（教育部長）

5校統合され新しい学校ができるため、何よりも子どもたち、教職員が喜び愛着を持ち使用できる校舎にしたいと強く思っている。そのため、皆様のお知恵を拝借したいと思っている。ぜひ良い学校を作りたいので今後とも協力をお願いしたい。

20：05 協議会終了